

スポーツでいきいき、広がる仲間の輪

伊賀市民スポーツフェスティバル

11月2日、伊賀市民スポーツフェスティバルを開催しました。スポーツに親しみと関心を持っていただき、参加者の親睦・交流を深めることを目的としていて、市内各地で7種目のスポーツを地区対抗戦で競いあいます。

青山グラウンドではグラウンド・ゴルフ、くれは水辺公園ではターゲット・バードゴルフ、島ヶ原運動広場ではゲートボール、いがまちスポーツセンター・霊峰中学校・西柘植小学校のグラウンドではソフトボール、上野運動公園体育館では卓球、上野商業高校体育館では綱引き、ゆめドームうえの・上野東小学校体育館ではバレーボールが行われました。

同じチームの仲間同士、積極的に声をかけあうなど、それぞれが一生懸命にプレーしていました。普段、一緒に練習していない人たちが、同じ地区の1つのチームとして団結し、スポーツを楽しみながら、仲間との交流も深まったことでしょう。



多彩な芸術作品を展示

青山ふるさと美術文化展覧会

11月8日から10日までの3日間、青山ホールで第43回青山ふるさと美術文化展覧会を開催し、絵画・書・彫塑・写真・工芸・生活工芸・生け花などの378作品が出展されました。

この展覧会は、日ごろ個人や公民館講座、文化サークル、老人クラブなどで活動している方々の成果を発表する機会です。それぞれの力作が並び、訪れた人々は、「細かいところまで手が込んでいる」などと感心し、熱心に観賞していました。



お魚さん、大きくなってね~

内水面漁業振興(稚魚放流)事業

10月29日、河川環境保全美化を目的として稚魚の放流事業を行い、比自岐保育所の園児たちが比自岐川の河川敷でマスの稚魚を放流しました。

子どもたちは色とりどりのバケツに入れられた稚魚を川へ放すと、「バイバイ！元気でね」「大きくなってね」と手を振りながら声をかけました。

また、マスの稚魚のほかにもフナの成魚も放流し、マスよりも大きくて少し緊張したようですが、「フナも放してあげたい」と挑戦していました。



そのあとは、木津川河川敷で神戸保育所の園児たちも稚魚の放流を行い、あわせて35人の子どもたちが参加し、川の魚たちとふれあって、川をきれいにすることの大切さを学びました。



歌、踊り、うまいもん！祭りでにぎわう実りの秋

●●●収穫まつり、けんずいまつり、紅葉まつり●●●

11月2日、大山田B&G海洋センターで大山田収穫まつり2008が開催されました。ステージプログラムでは大山田西・東保育園や、ふたば幼稚園の子どもたちによるダンスがあり、「練習を重ねていくごとに子どもたちは皆で踊る喜びが増し、最後までがんばって踊る気持ちになっていった」と先生は話していました。会場は地元の野菜や食べ物などの出店があり、多くの人で賑わいました。



また、翌日の11月3日には白藤滝周辺で紅葉まつりが開催されました。仮設ステージでの歌謡ショーのほか、桜美会奈良の皆さんによる『かっぱれ』では、威勢のいい音楽にあわせて踊りを披露しました。そして、地元の中高生ダンスグループ「忍風」によるダンスでは、中高生に人気の曲にあわせたオリジナルのダンスが披露されました。



同じく11月3日、阿山B&G海洋センターでけんずいまつり2008が開催されました。市内の企業や団体などが出店し、あやま子育て支援センターの手作りキャンドル体験では、親子で雪だるまやおひな様などの形のろうそくを作っていました。



祭りのメインイベント大鍋料理では、豚ミンチを包んだじゃがいも団子が入った「五縁門汁」が販売され、長い行列ができていました。

●●●芭蕉翁の偉功を称える

しぐれ忌

11月12日、万寿寺でしぐれ忌を行いました。これは俳聖松尾芭蕉をしのび、毎年11月12日に行われている式典です。

式典のあとの講演会では、三重県俳句協会会長で山繭俳句会主宰の宮田正和さんが『芭蕉の門人たち』と題し、数多い門人の中から、松尾芭蕉と弟子の関係で面白いと感じた10人について講演しました。

宝井基角は、芭蕉が30歳のときに初めて迎えた弟子で、14才で入門しました。宮田さんは、基角の俳句を豪快で派手な句と説明し、講演を聴いている人の中にはメモをする人の姿がありました。



●●●心をこめて、思いを詩に

障がい者福祉講演会

11月8日、ふるさと会館いがで伊賀市障害者福祉連盟と共催で障がい者福祉講演会を行いました。

講師の大野さんは、農作業中の事故で両手を失ったあと、詩や絵を描くようになり、全国各地や海外でも講演会や個展を開いています。事故の直後、家族や周囲の人々のあたたかさ支えられたという大野さんは、当時の詩を読み、その時感じた思いを語りました。

最後に、この講演会のテーマである『みんなやさしさの根っ子でつながっている』と書かれた文字からも、参加者は感謝の気持ちを持って生きることの大切さを学びました。

